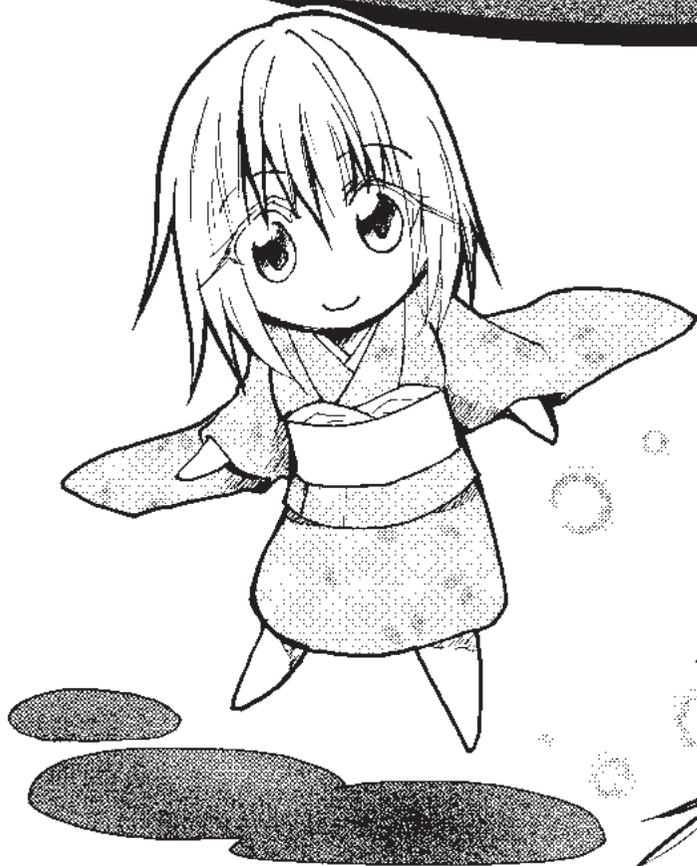


◆四国防災八十八話 第一話より

『吉野川下流域の高地蔵』

教訓…洪水の遺産から地域の災害特性を学ぶこと

登場人物紹介

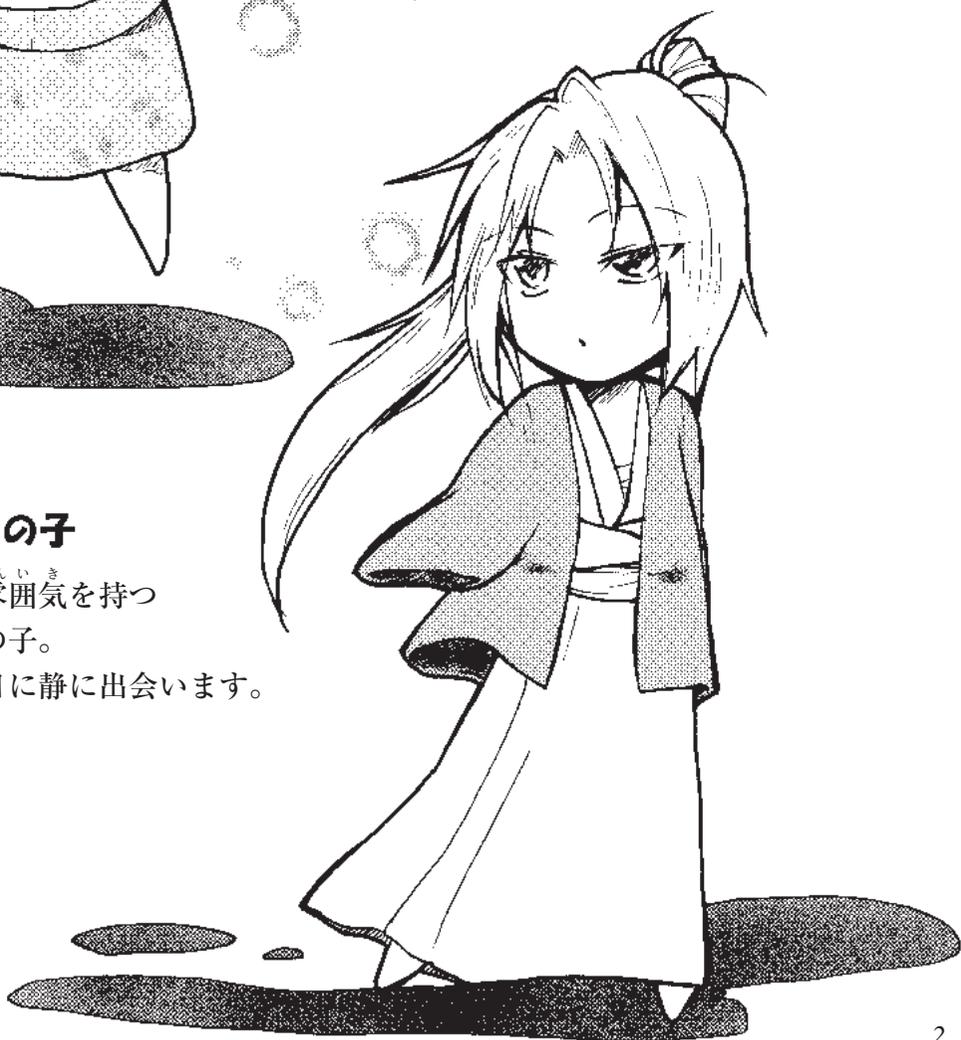


静（しず）

今回の物語の主人公の女の子。
昔の徳島県で起きた出来事を
彼女の視点で教えてください。
(作者のオリジナルキャラクターの
ため、実在しません)

長髪の子

不思議な^{ふんいき}雰囲気を持つ
長髪の子。
ある雨の日に静に出会います。



時は江戸時代の
終わり頃

よし皆
そろそろ帰ろうぜ！

私は阿波^{あわ}の国
(現在の徳島県)に
住んでいました

今日もいーっぱい
遊んだな！

うん！

あれ？

お地藏さんが
…倒れてる？

こんな所に
お地藏さんなんて
いたっけ…？

うわー
格好わるーい

静しず、そんなの
放はなつておこうぜ

私こっちの道だから
皆はもう先に
帰かえっていいよ

おうわかった
じゃ、またなー

お地藏さん…
どうして
倒たおれてるん
だろう？

…かわいそうだな

あれ？
そこにいるのは…

静しずかい？

お父さん

どうしたんだい？
こんな所で

倒れているお地蔵さんを見つけたの

うん？

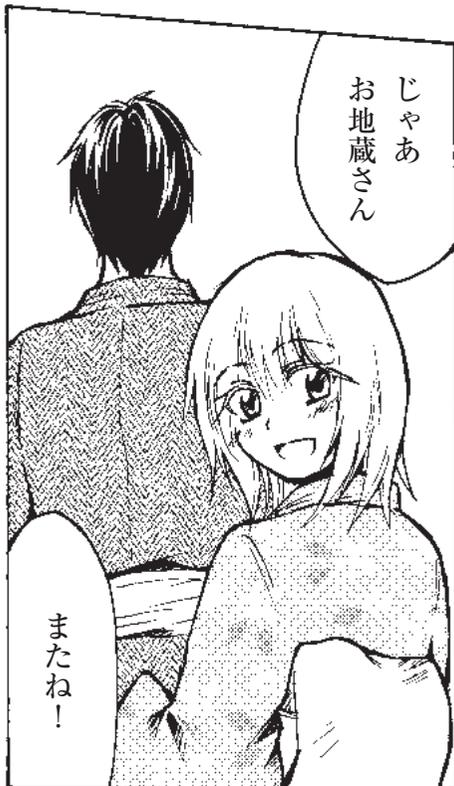
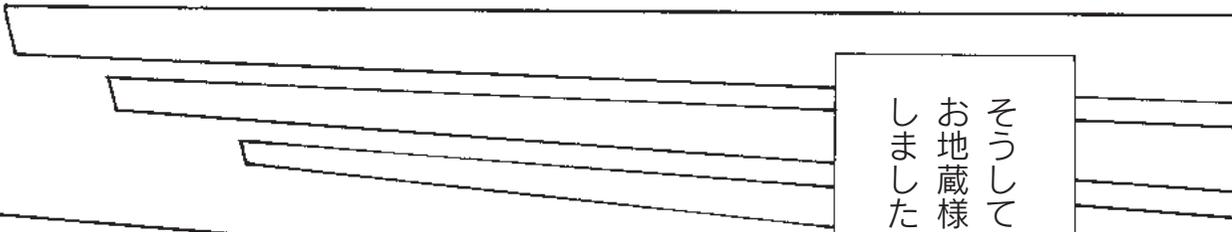
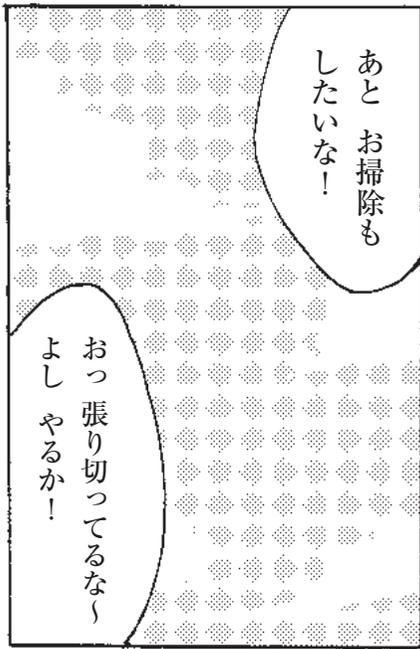
これは…きつと
洪水こうずいのせいで
倒れちゃった
んだな

洪水こうずい？

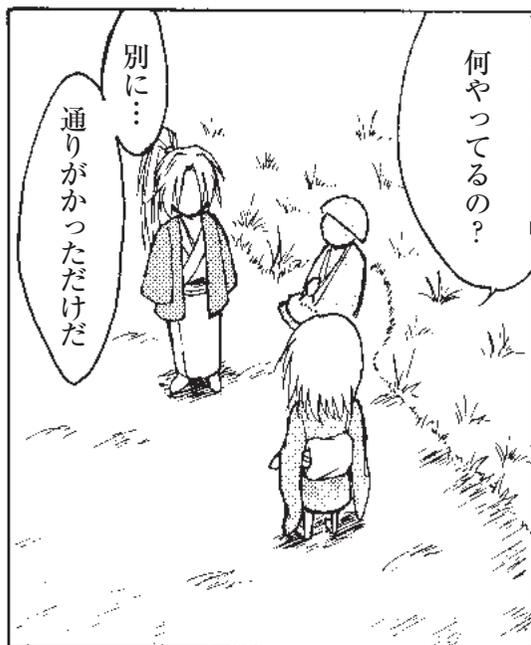
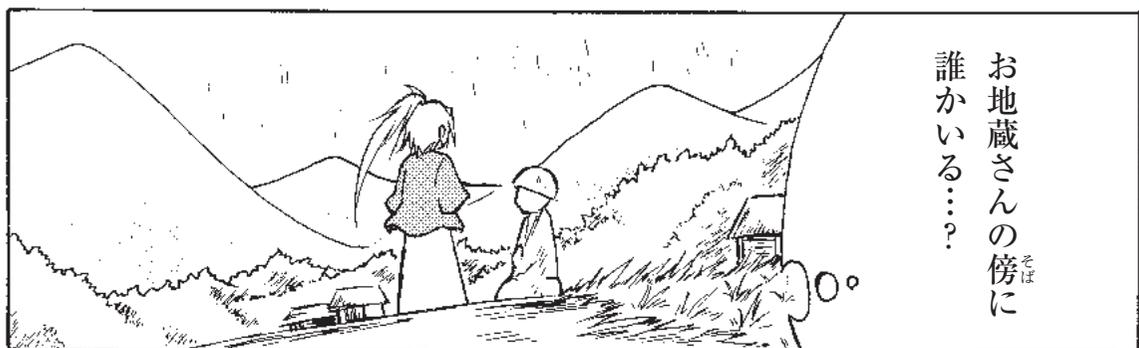
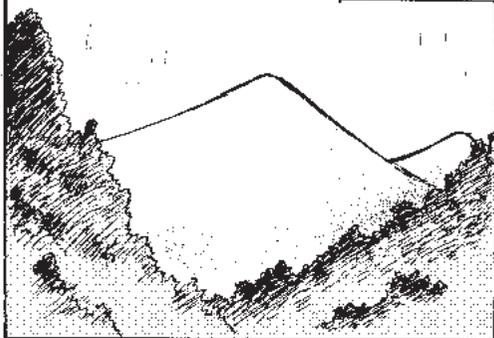
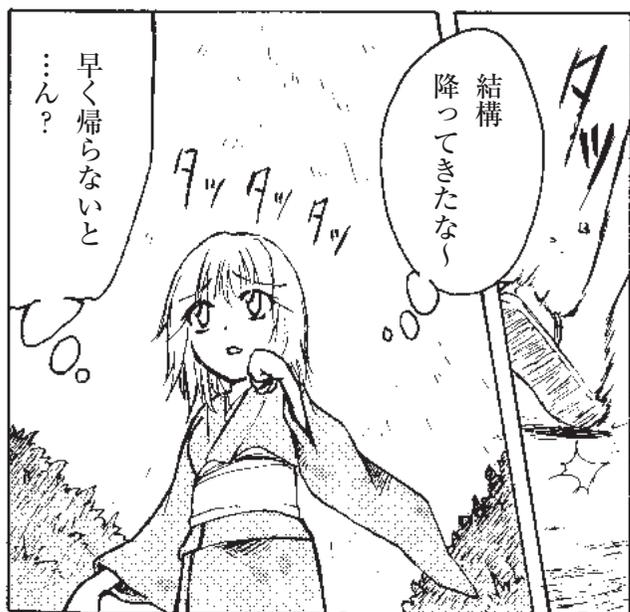
そう、まだ静が
今より小さかった頃

この村で大洪水だいこうずいが
起きたんだ

このお地蔵さんは
その時、きつとどこかから
流されて来ちゃった
んじゃないかな



数日後…



コレ…この前まで
倒れてたのに…

誰が直したん
だろうな

私とお父さん
だよ

洪水で流されちゃってて
かわいそうだったから
戻してあげたの

…

わざわざ面倒な事を

どうせまたすぐに
倒れるんだから…
放っておけばいい

倒れてても
見て見ぬフリを
すれば…

そんな事
言っちゃダメだよ

お地蔵さんは
私達のことを見守って
くれてるんだから…

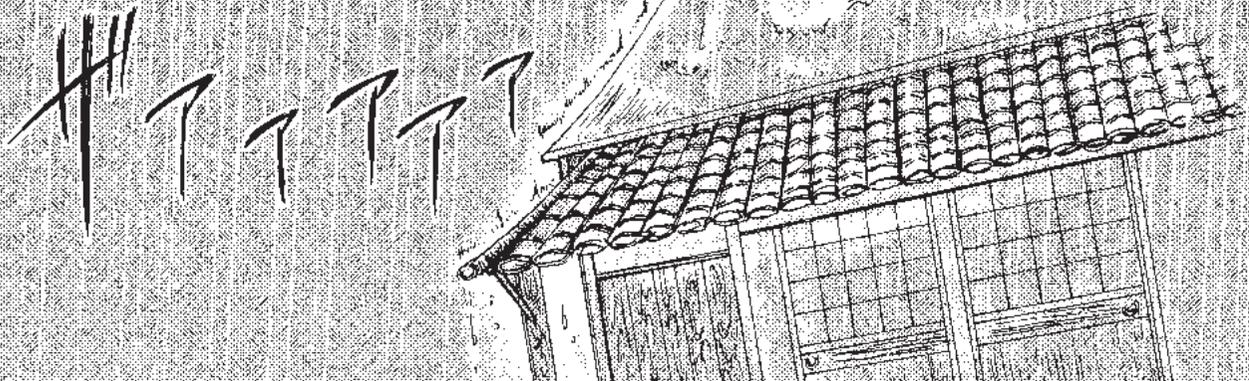
私達もお地蔵さんを
大事にしなきゃ
いけないんだよ

ずいぶん
随分と変わった
童だ

早く帰りな

雨はしばらく
止みそうにない
風邪をひくぞ

あ、うん…





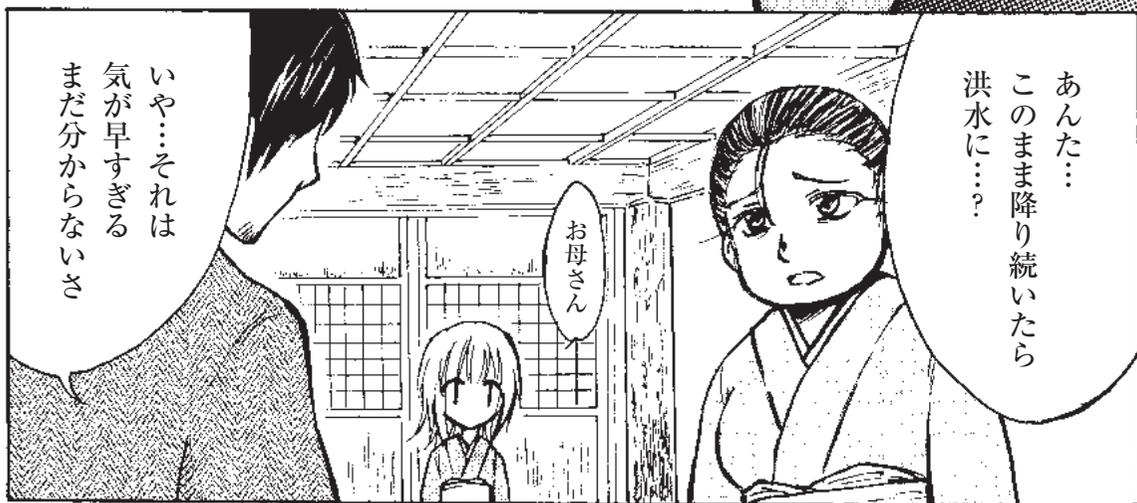
ああ…
そうだね

雨強くなって
きたね

ス…



アアアアア



あんた…
このまま降り続いたら
洪水に…?

お母さん

いや…それは
気が早すぎる
まだ分からないさ

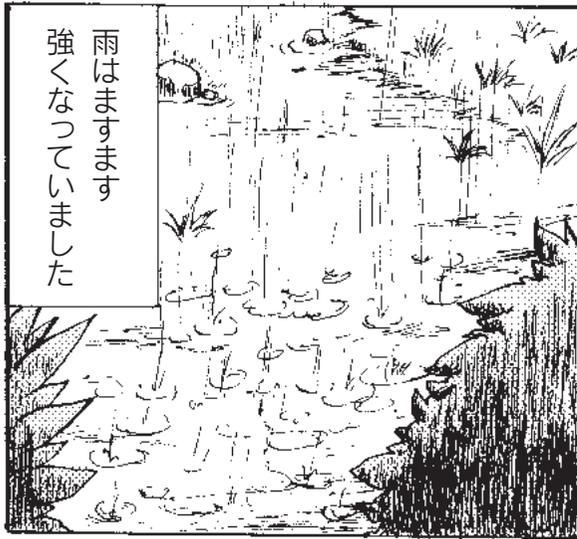


ただ…警戒は
しておいた方が
いいだろうな



洪水かあ…
怖いな…
一体どんなんだろう

私は不安に駆られながら
長い夜を過ごしました

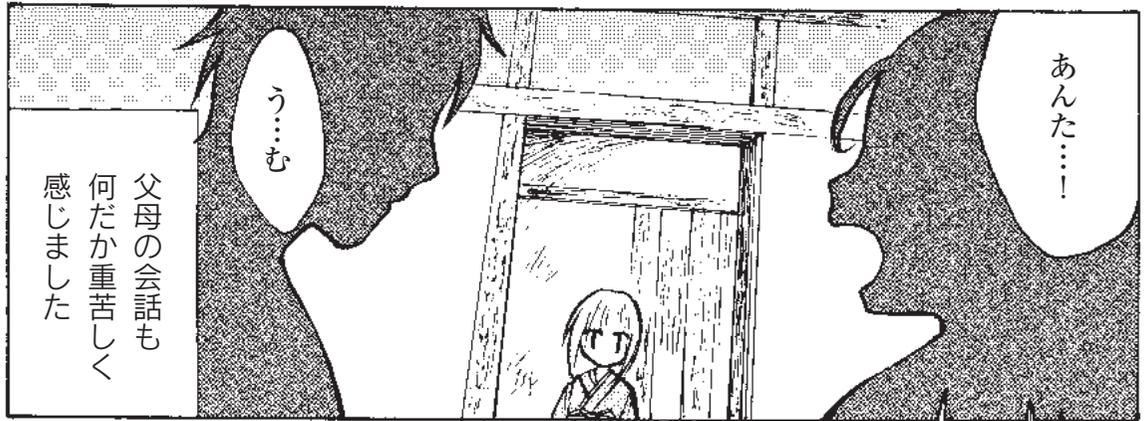


雨はますます
強くなっています



次の日…

目を覚ますと



あんた…!

う…む

父母の会話も
何だか重苦しく
感じました



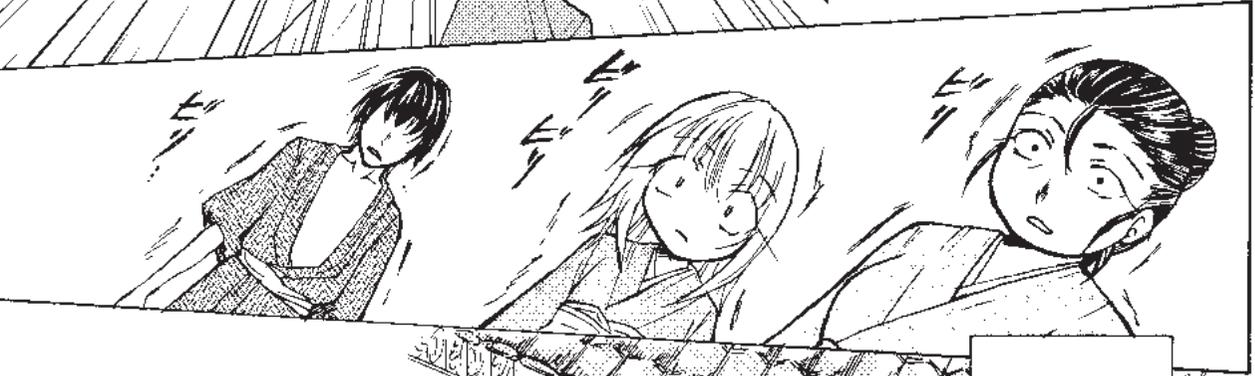


早く逃げろ！
アレが来るぞ！！



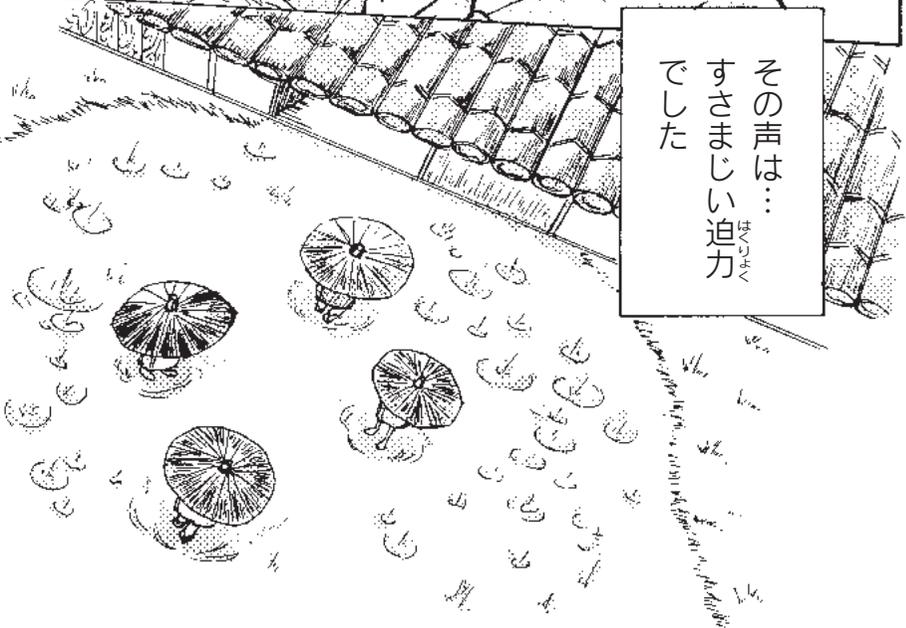
あの子…
あの時の

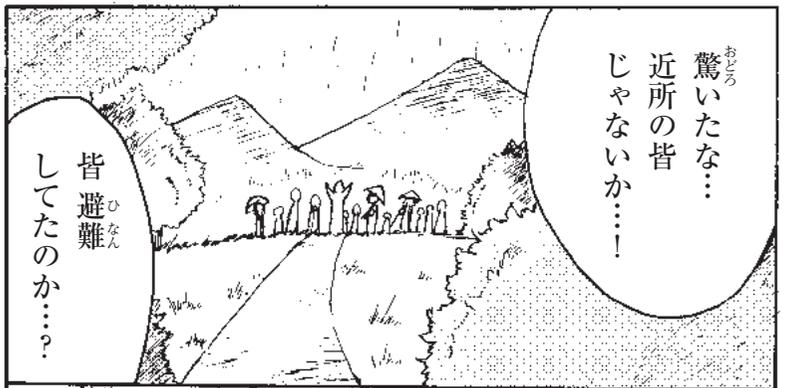
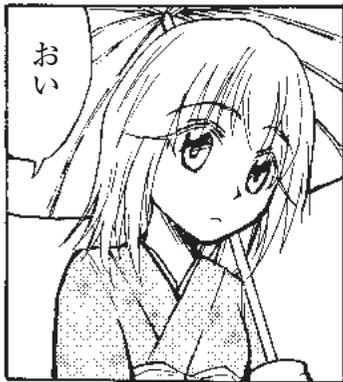
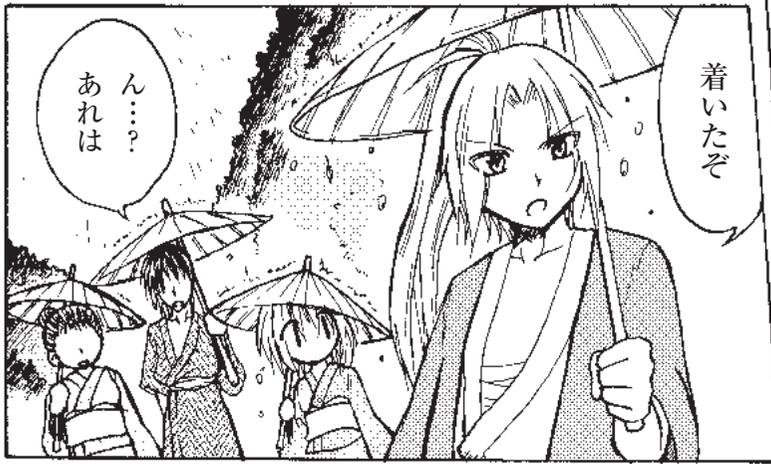
どうしたの
こんな雨のな…



その声は…
すさまじい迫力
でした

私達は言われるまま
豪雨の中、近くの丘を
目指して家を出ました





待って…!
キミは…っ

先日の恩は返したぞ

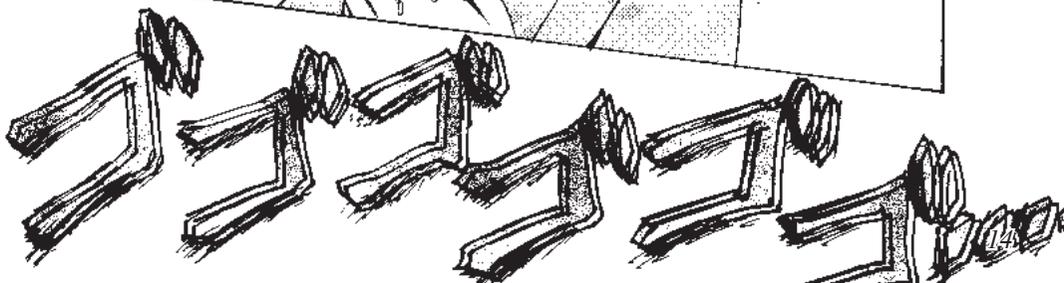
私の…
名前を…!?

静しず

あの人は…

もしかして…?

そっつ…





間も無く
私達の村に
大洪水が起きました



全てを飲み込む
その様子は
まるで大蛇^{だいじゃ}



小さい頃の「大蛇^{だいじゃ}」は
ほとんど記憶に
なかつたけれど…



今度は忘れない
忘れちゃいけない…！
そう感じていました

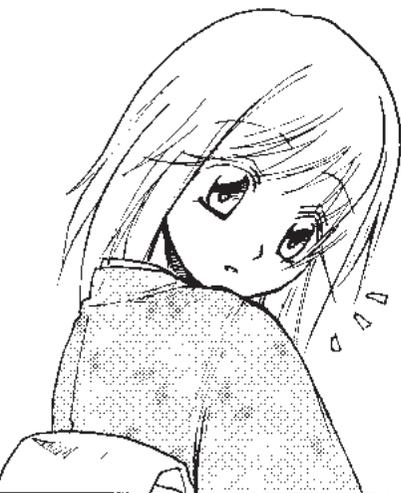
お父さーん

大体の家の中の物の
整理は終わったよー

カ
カ

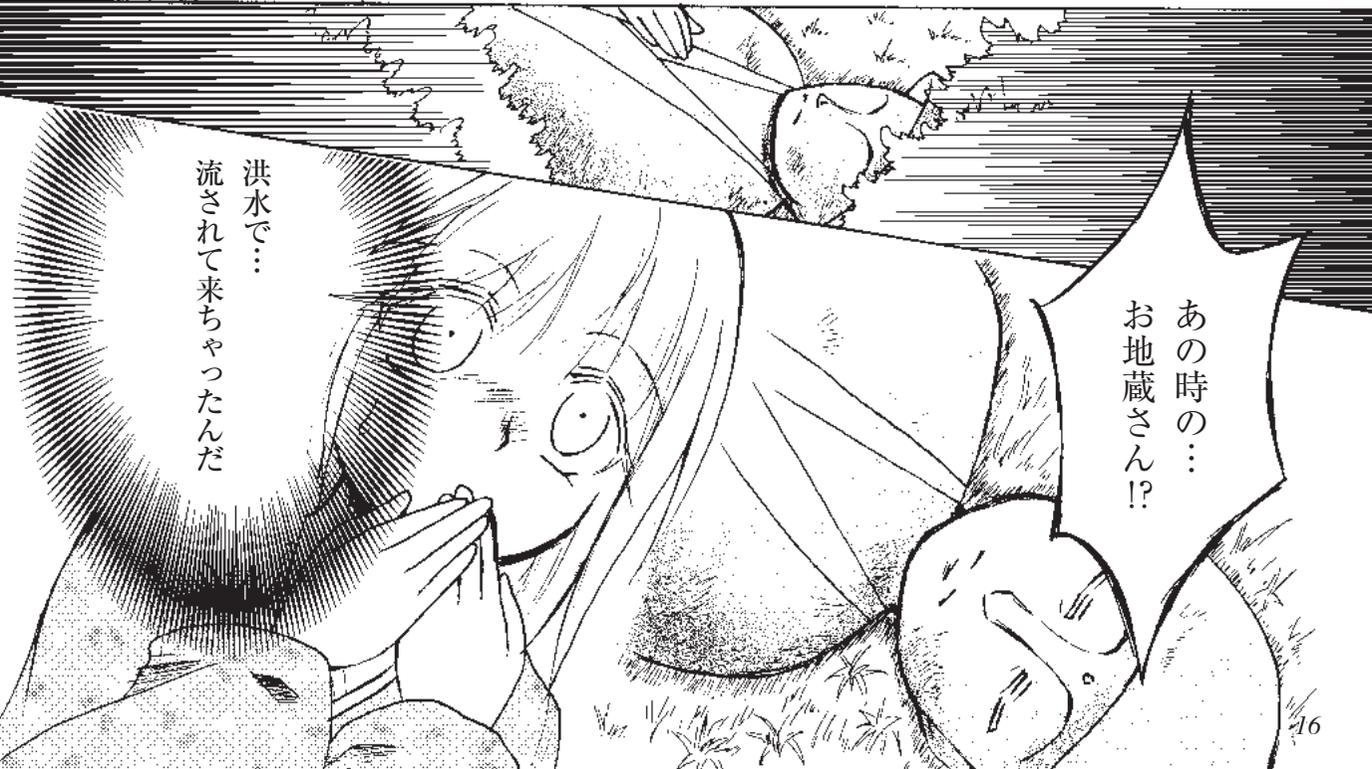
カ
カ

カ
カ



はーい

そうか、ありがとう
しばらく休んで
いいよ



洪水で…
流されて来ちゃったんだ

あの時の…
お地藏さん!?

あの時は
言えなかったけれど...

す...

本当に
ありがとう

私...
忘れないよ

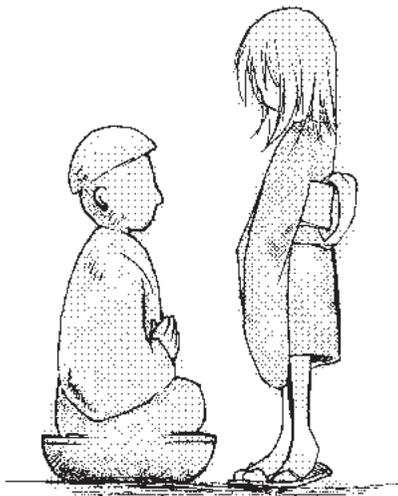
お父さん！
あのお地藏さんが
流されて来てるよ！

直して
あげなきゃっ

洪水でお地藏さんが
水に浸かったり流されたり
しては申し訳ない

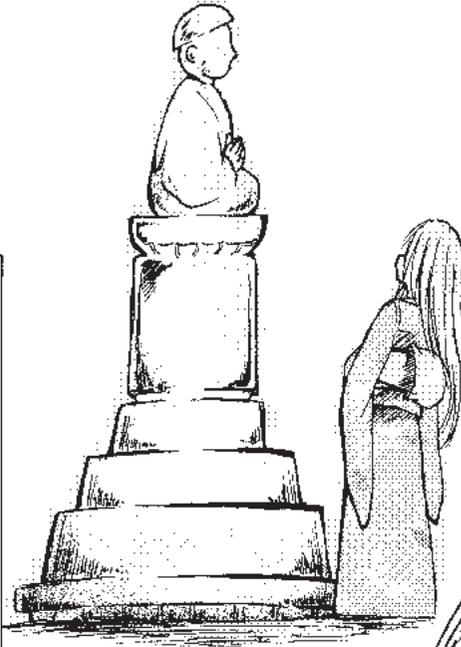
洪水の恐ろしさを
忘れてはいけない

そう考えた私達は
お地藏様に
台座を作りました



台座の高さは
その地域の洪水の被害の
大きさに比例しています

浸水しんすいが大きい地域では
それだけ台座は
高くなりました



「高地蔵」
……

その風変わりなお地蔵様に
まつわる遠い伝承は……
今もこの地で語り継がれて
いることでしょう

